

2021.11.01

日本交通教育サービス株式会社
ドローンビジネスラボラトリー倉敷真備校

歩行速モビリティ「RakuRo」を用いた 買い物支援の実証実験のお知らせ

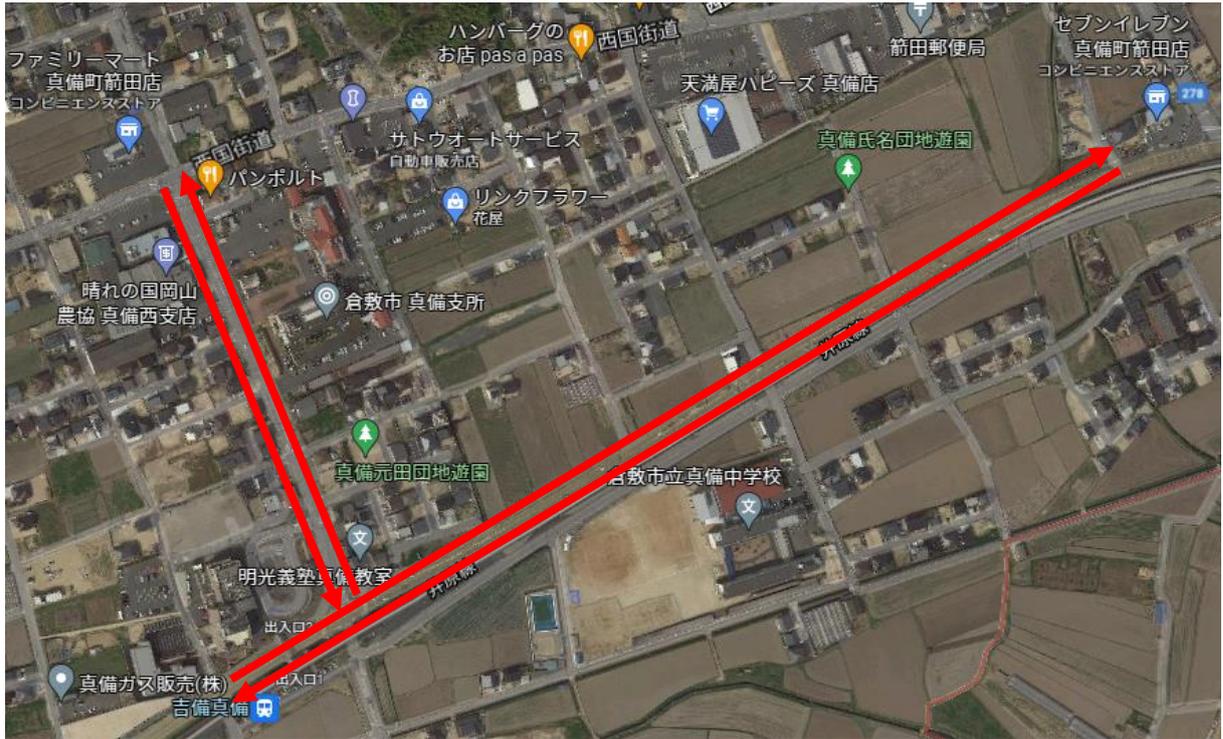
日本交通教育サービス株式会社(岡山県倉敷市中島、代表取締役社長 青山知之)は、同社が運営する倉敷市真備町のドローンスクール(通称:dlabo/ディーラボ)と共同で、株式会社 ZMP が提供する歩行速モビリティ「RakuRo(ラクロ)」を用いて、岡山県下で初となる買い物支援の実証実験を行います。

【概要】

「RakuRo(ラクロ)」を用いた新しい移動手段ならびにラストワンマイル問題や買物弱者への新しい提案として、実証実験を行う。ライフスタイルに合わせた買い物支援を想定し、用意した複数のルートから行き先を選択する形での移動を、近接監視者同行の元、検証します。

市営箭田南団地ご協力の元、買い物支援面や移動手段としての課題の解決を図るとともに、遠距離監視型など、更なる実証実験への足掛かりとなります。

- 実施日時 : 2021年11月19日金曜日~11月26日金曜日(悪天候の場合は、中止の可能性あり)
- 開会式 : 2021年11月19日金曜日 10時
- 開会式場 : ドローンビジネスラボラトリー 倉敷真備校 住所:倉敷市真備町有井1612-1
- 実施場所 : 倉敷市真備町箭田付近 スタート地点:市営箭田南団地
- 運行エリア: ルート1 東へ800m、その後折り返すルート
ルート2 北へ500m、その後折り返すルート



・使用機体：RakuRo(ラクロ)



■ 実証実験流れ

- ① 参加者の身元確認
- ② 参加者への緊急時の操作説明を実施
- ③ 参加者へ選択ルートの確認を実施
- ④ 操作スタッフが RakuRo を手動でスタート位置へ移動
- ⑤ 操作スタッフが RakuRo の位置情報プログラムを RakuRo に送信
- ⑥ 位置情報の取得確認後、参加者が RakuRo に搭乗
- ⑦ 操作スタッフが選択ルートのプログラムを RakuRo へ送信、運行開始
- ⑧ 操作スタッフは RakuRo の 1~2m 後ろを歩行し、周囲の警戒を行う
- ⑨ 参加者の希望に合わせて操作スタッフは立ち寄りポイントで RakuRo を停止
- ⑩ 立ち寄りポイントを経て、スタート地点に戻り検証終了
- ⑪ 参加者の健康等問題ないか確認
- ⑫ 参加者が RakuRo を降りた後、操作スタッフは手動で RakuRo を市営箭田南団地内に移動

■ 検証確認事項

- ① 信号検知・物体検知など、センサーによる安全の担保
- ② 携帯回線を使用しての安全な運行
- ③ 搭乗者の乗り心地やストレスに感じる箇所の確認

この取り組みを是非メディアの方々にご覧いただき、「RakuRo(ラクロ)」による買い物支援の実証実験を取材頂ければと思います。少し未来のロボライフ体験をご提供いたします。

当グループは、SDGs の活動にも積極的に取り組んでおります。

最新の技術をもって自動運転ロボットの実証実験を進めることにより、地域住民のみなさまが、安心・安全に便利で快適に暮らしていただける「まちづくり」を目指して参ります。

また、長年にわたる自動車教習所やドローンアカデミー運営のノウハウを活かし、ロボットオペレーション関連の人材育成を目的としたロボットアカデミー構想を、エデュケーション事業の中で倉敷から全国へ広めていきたいと考えております。

